

第1号議案

令和2年度事業報告について

1. 定時総会

日程：令和2年7月

結果：コロナ禍により書面総会で開催

会員企業79社のうち、過半数を上回る72社の賛成をもって全議案可決

2. マッチング事業

①コーディネーターによるマッチング

おおいた食品産業企業会コーディネーター 西川 学 氏

〈実績〉

企業訪問数：のべ 142社（前年118社）

マッチング件数： 96件（前年 67件）

→うち、成立：34件、不成立：32件、継続中：30件
(前年17件 18件 32件)

○成立事例

ベリーツ規格外品の有効活用と知名度拡大のため、ベリーツフリーズドライパウダーを活用した新商品開発を支援。

→(株)ざびえる本舗・・・BUNGO 乃 菓和里（かおり）

大徳・・・ベリーツポン菓子

後藤製菓・・・ベリーツチョコクランチ

(有)フードスタッフ・・・ベリーツスティックケーキ



3. 商品開発事業

①マーケットインに基づいた商品改良支援

〈実績〉

採択企業数：6社

○主な事例：工務トータル備工(有)

クールフーズHANA

(改良商品) 冷凍焼き芋



既製品の真空包装パックでは、冷凍焼き芋の真空率を維持できず商品価値が低下していたため、新たにオーダメイドの真空包装パックに改良

②食品オープンラボ利用実績

総利用時間：1, 469時間（前年1, 178時間）

総利用回数：131回（前年44回）

【ラボ新機器の導入】

- ・R2. 10月にエアブラスト冷凍機（大和冷機工業製）を導入
- ・R3. 2月に露点制御式乾燥機（木原製作所製）を導入



4. 人材育成・事業環境変化対応事業

① 食品加工リーダー研修会

委託先：フーズテクニカルサービス

〈実績〉

令和2年8月27日～

令和3年3月25日 計9回
5社8名受講（うち修了者5社8名）



② 事業環境変化対応セミナー（食品ロス削減）

日時：令和2年7月30日（木）13：30～14：30

講師：公益財団法人流通経済研究所 主任研究員 石川 友博氏

内容：食品ロスの現状及び食品加工、流通事業者が今後取り組むべきこと

→令和2年度総会での基調講演を予定していたが、総会中止により

Zoomウェビナー形式に変更して開催（Zoom視聴者25名）

5. 販路開拓

① HACCP講習会

委託先：ロイドレジスター・ジャパン株式会社

〈実績〉

- HACCP実践ワークショップ

令和2年7月8日

～令和3年2月28日 計8回

延べ31社51名受講（うちオリジナルプラン完成7社）



② ハラル認証取得支援

委託先：株式会社T & K

〈実績〉

- ハラル認証商品（継続認証4社）

・(株)学食、くにみ農産加工(有)、(株)鳥繁産業、(株)成美

③ FABEX 2020 (R2. 4)

コロナ禍により中止

R2.8月に出展経費の一部（1,330千円）返還（雑収入で計上）

④ こだわり食品フェア 2021 (R3. 2)

日程：令和3年2月17日（水）～19日（金）

場所：幕張メッセ（総来場者数：26,385人）

※昨年80,428人

内容：出展企業 8社（昨年13社）



→首都圏緊急事態宣言下の中で開催。

総来場者数は昨年の約1/3だったが、

出展企業からは、「来場者は少ないが、商談意識の高いバイヤーの来場が多くかったため、例年よりも密度の濃い商談ができた」という声も

⑤ デジタルマーケティング販路開拓支援事業（おおいた食のたすきプロジェクト）

委託先：デジタルバンク株式会社

〈実績〉

契約期間：令和2年10月8日～令和3年3月15日

実施内容 [\(https://shokunotasuki.jp/\)](https://shokunotasuki.jp/)

コロナ禍で多くの展示会、商談会が中止となる中、新たな販路開拓の機会を創出するため、企業会ホームページをリニューアルし、県内食品企業と県外企業とのマッチングプラットフォームを構築

- ・企業会会員企業の取材記事掲載（会員企業31社）
- ・企業会PR動画作成
- ・Webプロモーション
- ・マーケティングオートメーション（MA）ツールの導入



令和2年度決算

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B)-(A)	備 考
会 費	1,850,000	1,860,000	10,000	会員2万円、協力会員1万円
負 担 金	19,156,000	19,156,000	0	
雑 収 入	1,320,000	1,321,525	1,525	ファベックス2020中止に伴う一部返金分、利子
繰 越 金	3,456,000	3,454,637	▲ 1,363	
デジタルマーケティング販路開拓支援事業～おおいた食のたすきプロジェクト～	14,273,000	14,272,500	▲ 500	大分県から年度途中で追加措置されたもの
収 入 計	40,055,000	40,064,662	9,662	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B)-(A)	備 考
マッチング事業費	4,498,000	3,456,857	▲ 1,041,143	
うち、コーディネーター設置費	4,208,000	3,417,257	▲ 790,743	未活用県外旅費による減
うち、マッチングサイト保守費	40,000	39,600	▲ 400	
うち、マッチング会開催費	250,000	0	▲ 250,000	コロナ禍により実施取りやめ
商品開発事業費	4,948,000	2,835,656	▲ 2,112,344	
うち、マーケットインに基づいた商品改良支援費	3,000,000	1,256,130	▲ 1,743,870	未活用補助金による減 採択実績：6件（昨年11件）
うち、オープンラボ運営費	1,948,000	1,579,526	▲ 368,474	新機器導入時期の後ろ倒しに伴う リース支払開始の遅れによる減
人材育成・事業変化対応事業費	1,634,000	1,014,970	▲ 619,030	
うち、食品加工リーダー研修会費	1,100,000	904,310	▲ 195,690	工場見学取りやめによる減
うち、事業環境変化対応セミナー開催費	534,000	110,660	▲ 423,340	リアル開催→Zoom開催への変更による減
販路開拓事業費	24,002,000	20,509,222	▲ 3,492,778	
うち、H A C C P 支援費	3,610,000	2,860,660	▲ 749,340	開催回数の減
うち、ハラル認証取得支援費	1,161,000	761,623	▲ 399,377	認証件数の減
うち、ファベックス出展事業費	2,370,000	0	▲ 2,370,000	FABEX2020 (R2.4) 中止 2021 (R3.4) 出展取りやめによる皆減
うち、こだわり食品フェア出展事業費	2,588,000	2,614,109	26,109	
うち、デジタルマーケティング販路開拓支援事業費	14,273,000	14,272,830	▲ 170	
事務局経費	1,352,000	1,246,349	▲ 105,651	
予備費（繰越金）	3,621,000	11,001,608	7,380,608	
支 出 計	40,055,000	40,064,662	9,662	